

「戦争を超え、和解へ」 諸宗教平和円卓会議

第3回東京平和円卓会議

コンセプトノート

【背景】

○東京平和円卓会議とは

東京平和円卓会議は、紛争地域の宗教指導者が一堂に集い、和解に向けた対話を行うものである。本会議は、2022年9月に第1回、2024年2月に第2回を行った。

○第1回東京平和円卓会議

第1回会議はロシア、ウクライナ、ブルキナファソ、南スーダン、エチオピア、シリアなど14カ国から宗教指導者が参加した。会議では、厳しい国際情勢にあっても宗教者が平和構築の架け橋になること、戦争で引き裂かれたコミュニティを癒していく責任があること、宗教者間の協力を促進するために対話を継続することを明記した声明文を採択した。

○第2回東京平和円卓会議

第1回会議の声明文で謳った対話の継続を実行するために、第2回会議はロシア、ウクライナ、イスラエル、パレスチナ、ミャンマー、コロンビア、ハイチ、マリなど16の国と地域から宗教指導者が参加した。そして、対話の成果として以下の具体的な行動を明記した声明文を採択した。

- ・宗教者の平和構築者としての自覚
- ・戦争と暴力を強く非難
- ・敵味方関係なく、全ての人々の生命の尊厳と神聖さの平等性の確認
- ・人道支援の非政治化
- ・AI搭載武器や核兵器などの非人道的な兵器の否定
- ・礼拝所、聖地などの宗教施設の保護、攻撃対象への懸念
- ・メディアによる虚偽情報、扇動報道、ヘイトスピーチへの対応
- ・具体的な行動（人道支援、青年交流、離散家族の再会）

参加した宗教指導者は、本声明文の実行を誓い合い、各国に戻った。

○第3回東京平和円卓会議

この度開催される第3回会議の目的は、紛争地域の宗教指導者が集い、和解のための対話を継続することと、第2回会議の声明文に基づいた話し合いを行うことである。第2回会議の声明文はどの程度実行できたのか、この声明文の実行上の課題とは何か、これを実行するために求められている行動とは何か、という問題意識のもとに話し合いが行われる。

そして、紛争地域の現状に対するさらなる理解を深め、宗教者が連携して実践すべき平和構築への行動を共に立案し実行を誓い合う機会として、第3回会議は次の内容を実施する。

- ・ 宗教者同士の相互理解と信頼醸成を図る交流
- ・ それぞれの宗教信条に基づいた真摯な対話
- ・ 和解に向けた共通の行動計画の策定
- ・ 政治指導者、国連関係者、市民社会セクターとの連携
- ・ 宗教者による和解に向けたメッセージの発信

○東京平和プロセス

東京平和円卓会議は、今回で3回目となる。今後、この会議で培った成果をより継続的な実践へと繋げていくことが必要となる。その際、紛争予防、停戦、紛争後の和解といった紛争サイクルに対応するため、一時的な平和会議ではなくの中長期的な視野を持ち、継続的な実践を意識した平和プロセスの実現を目指す。

【概要】

1. 共催：WCRP/RfP 国際委員会、WCRP 日本委員会、
国連文明の同盟（UN Alliance of Civilization：UNAOC）
2. 後援：アジア宗教者平和会議、WCRP 国際活動支援議員懇談会、WCRP ジャパ
ニーズトラステーズ
3. 日程：6月30日（月）記者会見
7月 1日（火）振り返り、開会式、セッション1、2
7月 2日（水）国会議員との対話、都内見学（非公開）
7月 3日（木）セッション3～5、閉会式
4. 会場：東京プリンスホテル（港区芝公園3-3-1）
5. 海外参加者：

世界宗教者平和会議（WCRP）関連

- ① エマニュエル・アダマキス府主教（トルコ・カルケドン長老府主教、WCRP 国際
共同議長／トルコ／キリスト教）
- ② デヴィッド・ローゼン首席ラビ（アブダビ・アブラハム・ファミリー・ハウス
特別顧問、WCRP 国際共同会長／イスラエル／ユダヤ教）
- ③ ムニブ・ユナン博士（ヨルダン・聖地福音ルーテル教会名誉監督、WCRP 国際名
誉会長／イスラエル／ユダヤ教）
- ④ ケゼヴィノ・アラム博士（シャンティ・アシュラム会長、WCRP 国際共同議長／
インド／ヒンドゥー教）
- ⑤ シェイク・アブドラ・ビン・バイヤ師（アブダビ平和フォーラム会長、WCRP 国
際共同議長／UAE／イスラーム）
- ⑥ アル＝マフフード・ビン・バイヤ師（アブダビ平和フォーラム事務総長／UAE／
イスラーム）
- ⑦ チャールズ・ボー枢機卿（ミャンマー・ヤンゴン大司教、WCRP 国際共同会長／
ミャンマー／キリスト教）
- ⑧ フランシス・クーリア・カゲマ博士（WCRP 国際事務総長、WCRP アフリカ宗教指
導者評議会事務総長／ケニヤ／キリスト教）
- ⑨ ディーピカ・シン氏（WCRP 国際副事務総長およびプログラム・ディレクター／
ネパール／ヒンドゥー教）

ロシア

- ① ヴァクタン・キプシーズ氏（ロシア正教会 教会・社会・メディア関係シノドス副議長／キリスト教）
- ② トリガ・アリエル・エリエゼル師（ロシアユダヤ教コミュニティ連盟地域開発部長／ユダヤ教）
- ③ アルビル＝ハズラト・クラガノフ大ムフティ（ロシア・ムスリム精神管理部ムフティ、ロシア・ムスリム精神集会会長／イスラーム）

ウクライナ

- ① イホール・シャバン博士（ウクライナ・ギリシャ・カトリック教会，宗教間対話・エキュメニカル委員会委員長／キリスト教）
- ② ヤアコヴ・ドヴ・ブライヒ師（キーウおよびウクライナ首席ラビ、ウクライナ・ユダヤ教宗教団体連合創設者兼会長／ユダヤ教）
- ③ イェウストラティ・ゾリア大司教（ウクライナ正教会 チェルニヒウ大司教、対外教会関係局 副局長／キリスト教）

イスラエル

- ① ウリエル・シモンゾーン准教授（ハイファ大学 中東・イスラーム研究学科准教授、ハイファ宗教研究ラボ所長／ユダヤ教）

パレスチナ

- ① サラ・ズハイカ氏（元イスラーム寄付担当副大臣、聖地宗教団体評議会（CRIHL）メンバー／イスラーム）
- ② ベルナデット・A・ムーラ氏（アル＝リカ・センター プログラムコーディネーター／キリスト教）

日本

- ① 杉谷義純（天台宗妙法院門跡門主、WCRP 日本委員会会長／仏教）
- ② 戸松義晴（浄土宗総合研究所副所長・浄土宗心光院住職、WCRP 日本委員会理事長／仏教）

政治家

- ① 岡田克也衆議院議員（立憲民主党／WCRP 国際活動支援議員懇談会共同代表）
- ② 逢沢一郎衆議院議員（自由民主党／WCRP 国際活動支援議員懇談会幹事長）

その他

- ① ウォルター・カスタネダ氏（フェッツァー財団 パートナーシップおよび共同投資戦略ディレクター）
- ② ミゲル・アンヘル・モラティノス氏（国連事務次長、国連文明の同盟上級代表）
- ③ サニア・パフェンホルズ氏（インクルーシブ・ピース）

※_____は、オンライン参加

6. プログラム案

6月30日(月) 記者会見	
16:00- 17:30	記者会見 ○フランシス・クーリア・カゲマ博士 (WCRP/RfP 国際事務総長) ○戸松義晴師 (浄土宗心光院住職/WCRP 日本委員会理事長) ○その他宗教指導者
7月1日(火) 振り返り、開会式、セッション1～2 導入・振り返り	
10:00- 10:15	平和の祈り
10:15- 11:15	平和と実践への基盤づくり 進行：ケゼヴィノ・アラム博士 (シャンティ・アシュラム会長、WCRP/RfP 国際共同議長)
11:15- 12:45	これまでの平和円卓会議の振り返り 発表： ○第1回、第2回円卓会議に出席した宗教指導者 ○逢沢一郎衆議院議員 (自由民主党/WCRP 国際活動支援議員懇談会幹事長)
14:00- 15:30	開会式 歓迎・開会挨拶： ○杉谷義純師 (天台宗妙法院門跡門主、WCRP/RfP 日本委員会会長) ○ミゲル・アンヘル・モラティノス氏 (国連事務次長、国連文明の同盟上級代表) ○フランシス・クーリア・カゲマ博士 (WCRP/RfP 国際事務総長) ○シェイク・アブドラ・ビン・バイヤ師 (アブダビ・ムスリム社会における平和推進フォーラム会長、WCRP/RfP 国際共同議長) ○岡田克也衆議院議員 (立憲民主党/WCRP 国際活動支援議員懇談会共同代表) ○その他宗教指導者
15:45- 17:00	セッション1：赦しと和解の促進に向けた現在の武力紛争への洞察と宗教指導者の役割 進行：フランシス・クーリア・カゲマ博士 (WCRP/RfP 国際事務総長)
17:00- 18:00	セッション2：国家的な対話～世界各地からの教訓 進行：ディーピカ・シン氏 (WCRP/RfP 国際副事務総長) 発題：サニア・パフェンホルズ氏 (インクルーシブ・ピース)
18:00- 18:15	閉会の祈り

7月2日（水） 国会議員との対話・宗教施設訪問	
10:00- 11:30	国会議員との対話 ※会場 衆議院第一議員会館 国際会議場 ○岡田克也衆議院議員（立憲民主党／WCRP 国際活動支援議員懇談会共同代表） ○逢沢一郎衆議院議員（自由民主党／WCRP 国際活動支援議員懇談会幹事長） ○WCRP 国際活動支援議員懇談会
午後	宗教施設訪問、日本文化体験※メディア非公開
7月3日（木） セッション3～5、閉会式	
9:00- 10:00	セッション3：社会の再構築に向けた諸宗教・各界の協力にもとづく行動 進行：ディーピカ・シン氏（WCRP/RfP 国際副事務総長） ○アル＝マフフード・ビン・バイヤ師（アブダビ平和フォーラム事務総長） ○フランシス・クーリア・カゲマ博士（WCRP/RfP 国際委員会事務総長） ○ミャンマー宗教指導者 討議
10:00- 11:30	セッション4：社会の再構築に向けた諸宗教・各界の協力の特徴を活かした行動 ※メディア非公開 分科会による討議 ○ミャンマー ○パレスチナとイスラエル ○ウクライナとロシア 全体会議：分科会からの報告
12:00- 13:00	声明文に関する議論※メディア非公開
14:30- 15:15	セッション5：東京平和プロセスの今後の取り組み 進行：ケゼヴィノ・アラム博士（シャンティ・アシュラム会長、WCRP/RfP 国際共同議長）
15:15- 16:00	閉会式 進行：フランシス・クーリア・カゲマ博士（WCRP/RfP 国際委員会事務総長） 閉会挨拶 ○WCRP/RfP 国際委員会共同議長（2名） ○WCRP/RfP 国際委員会共同会長（2名） ○WCRP/RfP 国際委員会名誉会長（1名） ○WCRP/RfP 日本委員会 声明文発表
16:30- 17:30	記者会見

以上